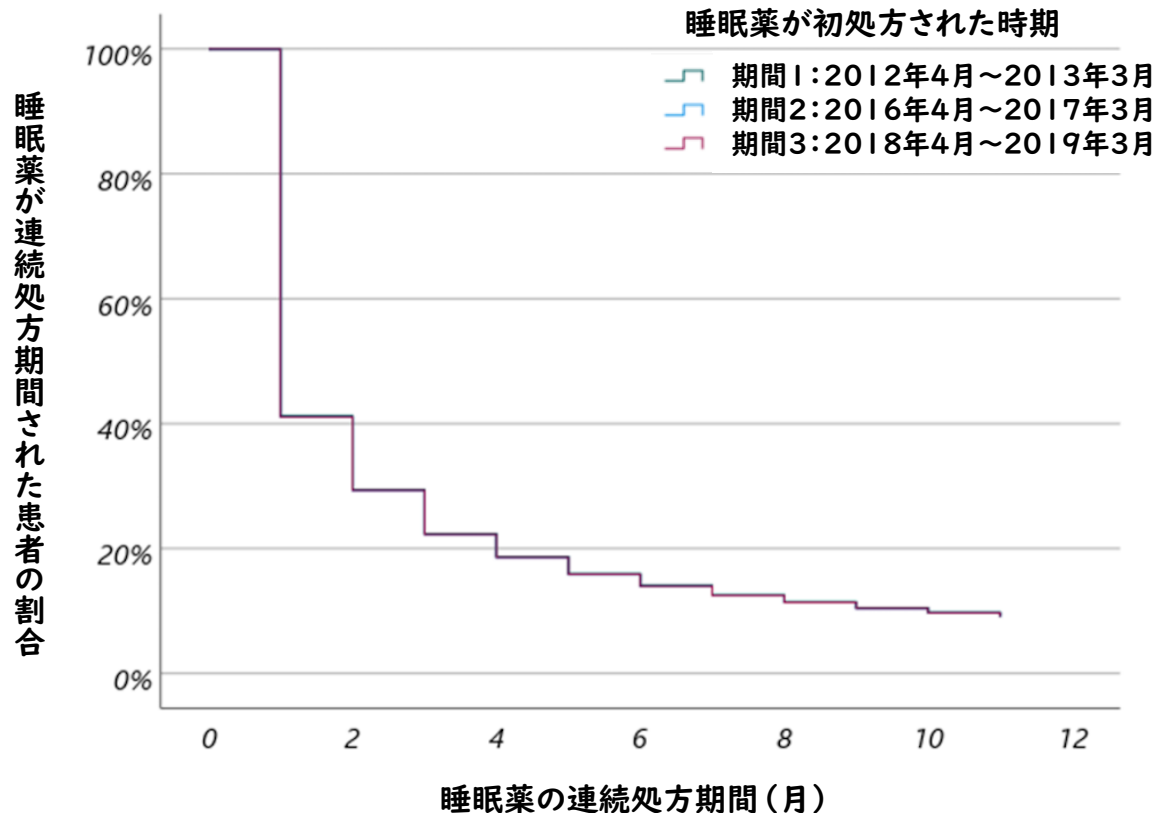


診療報酬改定は睡眠薬の長期処方を抑止する有意な効果がなかったが、オレキシン受容体拮抗薬で不眠症治療を開始することは睡眠薬の短期処方と関連した。本研究はPsychiatry and Clinical Neurosciences誌にアクセプトされました。

◆ Cox比例ハザード分析



◆ 睡眠薬の短期処方と関連する初処方月の因子

	OR (95%CI)	P value
新規睡眠薬		
メラトニン受容体作動薬	0.986 (0.945 - 1.028)	0.506
オレキシン受容体拮抗薬	1.077 (1.035 - 1.120)	<0.001
初めて睡眠薬が処方された時期		
期間2 [基準]		
期間1	0.996 (0.980 - 1.012)	0.635
期間3	1.000 (0.990 - 1.011)	0.944

睡眠薬の短期処方は睡眠薬開始から1年未満での中止と定義し、Cox比例ハザード分析で解析。初処方時の年齢(0～19歳, 20～39歳, 40～64歳, 65歳以上), 性別, 睡眠薬のクラス, 睡眠薬の剤数, 睡眠薬の力価, 抗不安薬の力価, 抗うつ薬の力価, 抗精神病薬の力価で調整した。